

CiscoWorks Common Services 任意のコード実行脆弱性

Critical アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20080528-cw](#)
初公開日 : 2008-05-28 16:00 [2008-2054](#)
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : [9.3](#)
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

CiscoWorks Common Services はリモート攻撃者が任意のコードを実行することを可能にする可能性がある脆弱性が含まれています。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080528-cw> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

CiscoWorks Common Services バージョン 3.0.3、3.0.4、3.0.5、3.0.6、3.1、および 3.1.1 は脆弱です。ベースがまたこの脆弱性から影響を受けると同時に CiscoWorks Common Services を使用する以下のシスコ製品。

Product	製品バージョン	Common Services バージョン
Cisco Unified Operations Manager (CUOM)	1.1	3.0.3
Cisco Unified Operations Manager (CUOM)	2.0	3.0.3
Cisco Unified Operations	2.0.1	3.0.5

Manager (CUOM)		
Cisco Unified Operations Manager (CUOM)	2.0.2	3.0.5
Cisco Unified Operations Manager (CUOM)	2.0.3	3.0.5
Cisco Unified サービス モニタ (CUSM)	1.1	3.0.3
Cisco Unified サービス モニタ (CUSM)	2.0	3.0.4
Cisco Unified サービス モニタ (CUSM)	2.0.1	3.0.5
CiscoWorks QoS Policy Manager (QPM)	4.0、4.0.1、および 4.0.2	3.0.5
CiscoWorks LAN Management Solution (LMS)	2.5、2.5.1、2.6	3.0.3
CiscoWorks LAN Management Solution (LMS)	2.6 アップデート	3.0.5
CiscoWorks LAN Management Solution (LMS)	3.0	3.1
CiscoWorks LAN Management Solution (LMS)	3.0 December 2007 年のアップデート	3.1.1
Cisco Security Manager (CSM)	3.0	3.0.3
Cisco Security Manager (CSM)	3.0.1	3.0.4
Cisco Security Manager (CSM)	3.0.2	3.0.5
Cisco Security Manager (CSM)	3.1 および 3.1.1	3.0.5
Cisco Security Manager (CSM)	3.2	3.1
Cisco TelePresence Readiness Assessment Manager (CTRAM)	1.0	3.0.5

注: 根本的な Common Services バージョンがアップグレードされた場合 CiscoWorks Voice Manager (CVM) および Cisco Unified Intelligent Contact Management (ICM) は脆弱である可能性があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

CiscoWorks Common Services バージョン 3.2 および それ以降または共通管理 フレームワー

ク (CMF) バージョン 2.2 を使用する製品は脆弱ではないです。

以下の CiscoWorks プロダクトはまたこの脆弱性から影響を受けません:

Product	製品バージョン	Common Services バージョン
CiscoWorks IP コミュニケーション マネージャ	1.0	3.0 SP1
CiscoWorks IP コミュニケーション サービス モニタ	1.0	3.0 SP1

注: 根本的な Common Services バージョンがアップグレードされた場合 CiscoWorks Voice Manager (CVM) および Cisco Unified Intelligent Contact Management (ICM) は脆弱である可能性があります。

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2008-May-28	初版リリース
-----------	-------------	--------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。